



2014年度

環境活動レポート

対象期間：2014年4月～2015年3月



発行日：2015年8月1日

公益財団法人かしわざき振興財団
理事長 近藤 清信

目次

1	組織の概要	P2
2	対象範囲(認証・登録範囲)	P5
3	環境活動実施体制図及び役割権限表	P6
4	環境方針	P8
5	環境負荷の現状	P9
6	環境目標(2014年度～2016年度)	P10
7	環境活動計画、取組結果と評価	P12
8	環境関連法規	P14
9	食品廃棄物のリサイクル率算出内訳	P16
10	代表者による全体評価と見直しの結果	P17

1 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

公益財団法人かしわざき振興財団 理事長 近藤清信

(2) 所在地

■総務課	〒945-0055 柏崎市駅前二丁目2番45号
■施設管理室	〒945-0065 柏崎市学校町6番73号
■産業文化会館事業所	〒945-0055 柏崎市駅前二丁目2番45号
■海洋センター事業所	〒945-0067 柏崎市西港町12番11号
■アクアパーク事業所	〒945-0065 柏崎市学校町6番73号
■総合体育館事業所	〒945-0812 柏崎市大字半田1番地4
■アルフォーレ事業所	〒945-0054 柏崎市日石町4番32号

(3) 指定管理施設

施設名	指定管理期間	備考	敷地面積
柏崎市農林漁業資料館 (こどもの時代館)	2011.4.1～2016.3.31	食品関連施設 2016年度から除外	2,585㎡
大崎温泉雪割草の湯	2011.4.1～2016.3.31	食品関連施設	5,220㎡
柏崎海洋センター(シーユース雷音)	2011.4.1～2016.3.31	食品関連施設	2,544㎡
柏崎市産業文化会館	2011.4.1～2016.3.31		3,474㎡
新潟県立柏崎アクアパーク	2011.4.1～2016.3.31		35,488㎡
柏崎スポーツハウス	2011.4.1～2016.3.31		4,400㎡
柏崎市武道館	2011.4.1～2016.3.31		3,307㎡
柏崎市陸上競技場	2011.4.1～2016.3.31		23,606㎡
白竜公園テニスコート	2011.4.1～2016.3.31		5,230㎡
駅前公園テニスコート	2011.4.1～2016.3.31		8,800㎡
柏崎市総合体育館	2011.4.1～2016.3.31		28,257㎡
佐藤池運動広場	2011.4.1～2016.3.31		53,430㎡
荒浜運動場	2011.4.1～2016.3.31		28,186㎡
西山総合運動場	2011.4.1～2016.3.31		66,155㎡
柏崎市文化会館アルフォーレ	2012.4.1～2017.3.31	2014年度から追加	28,600㎡
西山自然体験交流施設ゆうぎ	2015.4.1～2020.3.31	2014年度から追加	89,289㎡

※柏崎市農林漁業資料館(こどもの時代館)は、2016年度建物解体のため2015.11.23で閉館する。

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

■環境管理責任者

総務課 技術監 朝賀治雄 TEL 0257-24-7643 FAX 0257-22-7725

■事務局担当者

施設管理室 吉野公浩 TEL 0257-41-6609 FAX 0257-22-0766

(5) 事業活動の内容

柏崎市内公共施設の管理運営

(6) 事業規模

■従業員数 104人 (2015. 7. 1現在 正職員34人 有期契約職員70人)

■年間売上高 952, 143千円 (2014年度)

■事業施設総敷地面積 388, 571m²

(7) 事業年度

4月～3月

2 対象範囲（認証・登録範囲）

（１）組 織

全組織（対象事業所 16施設）

（２）活 動

全活動（柏崎市内公共施設の管理運営）

【2014年度から加わった施設】



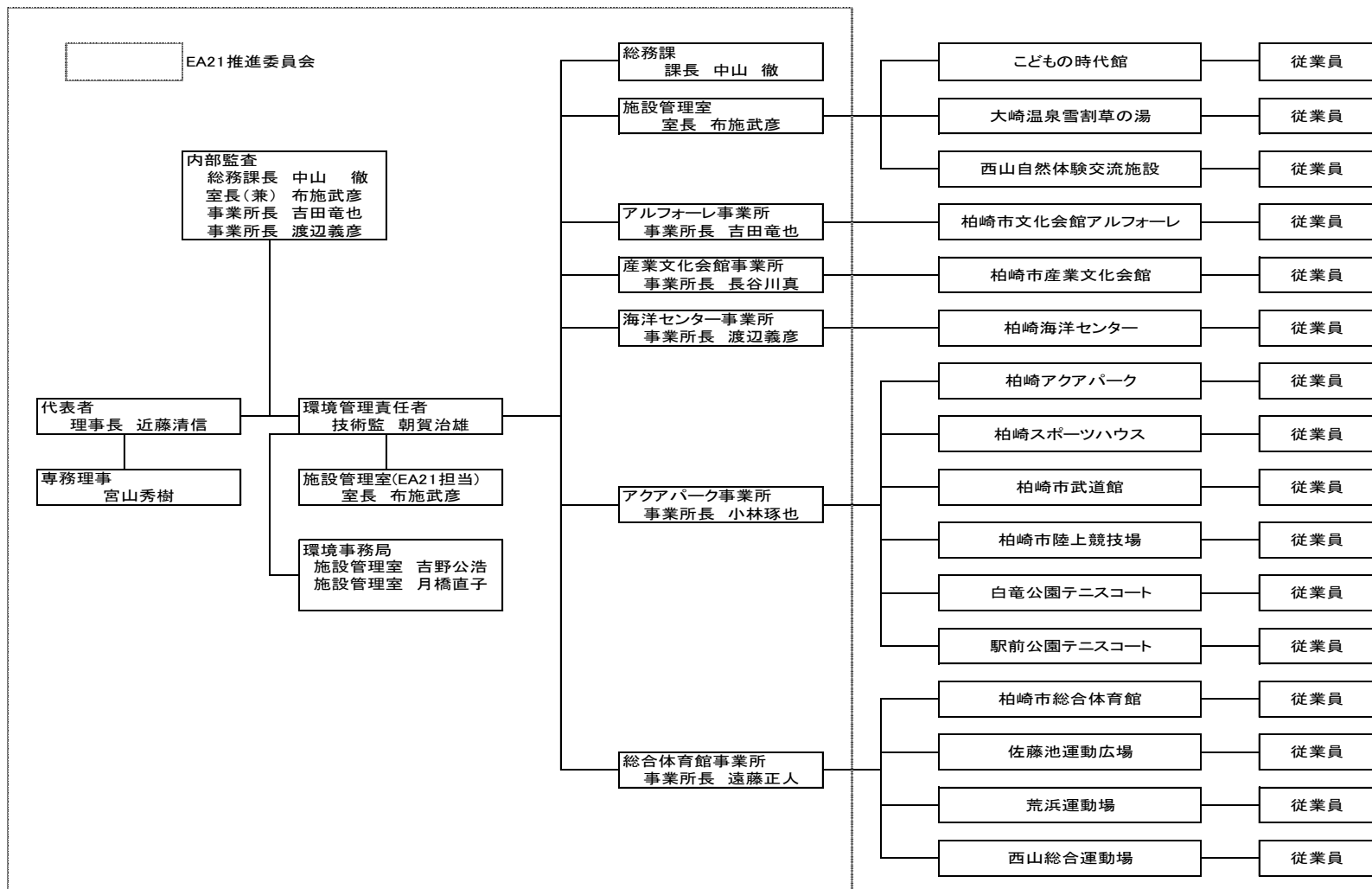
西山自然体験交流施設



文化会館アルフォーレ

3 環境活動実施体制図及び役割権限表

(1) 实施体制図



(2) 役割権限表

	役割・責任・権限
代表者（理事長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命する ・推進委員を任命する。および開催の必要に応じて推進委員を招集し、委員会を開催する ・内部監査員を任命する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・全体の環境目標・活動計画書、環境活動レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者（朝賀技術監） （布施室長）	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・全体の環境目標・活動計画書、環境活動レポートの承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・全体の環境活動に関する教育訓練の実施 ・部門ごとの環境目標・活動計画書、環境活動レポートの承認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・全体の環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・全体の「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 ・全体の「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 ・全体の環境目標・環境活動計画書原案の作成、 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・全体の環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長（事業所長）	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の職員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
推進委員会（推進委員）	・代表者、環境管理責任者、事務局、部門長、内部監査員のメンバーをもって構成する（推進担当者も状況により参加する） ・環境経営に関する事項を協議する
推進担当者（事業所担当者）	・部門長（事業所長）の補佐し、自部門の環境活動の推進 ・自部門における環境目標、活動計画書、環境活動レポートの作成 ・自部門における環境への取組の自己チェック、環境への負荷の自己チェックの実施 ・自部門の環境関連法規等に関する書類の作成および評価の実施 ・自部門の環境活動の実績集計
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
内部監査	・代表者の指示による環境活動の取り組みの監査 ・監査内容の報告及び問題点の指摘 監査委員（総務課長、施設管理室長、アルフォーレ所長、海洋センター所長）



アクアパーク

4 環境方針

公益財団法人かしわざき振興財団 環境方針

<環境理念>

公益財団法人かしわざき振興財団は、四季を通じて美しい自然と豊かな文化に恵まれた柏崎市において、地域住民の健康的な生活あるいは青少年の健全な心身育成に貢献する施設の維持・管理を担う指定管理事業者として、自財団の環境保全活動を通じて環境保全に係わる情報を広く提供するとともに、柏崎市の自然と文化を守り、さらに地域全体の環境負荷の低減に向けた活動を推進し、以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

<環境保全への行動指針>

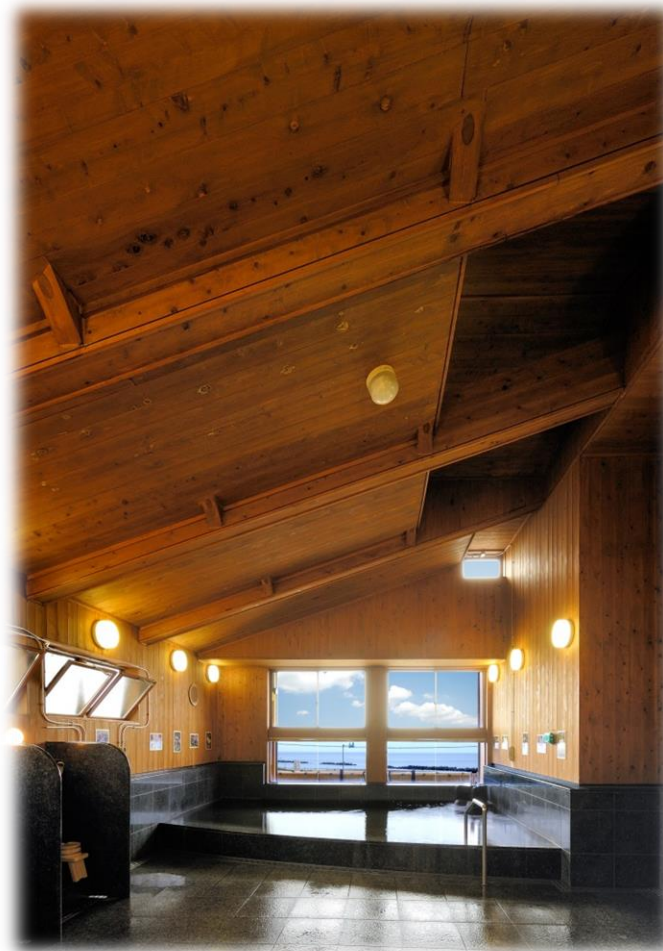
1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
電力の消費や業務車両の燃料消費などに伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物排出量の削減
廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上に努めます。
 - ③総排水量の削減
節水に努めます。
 - ④食品廃棄物排出量の削減
食品関連事業所において、食品廃棄物の削減に努めるとともに、食品廃棄物の再生利用率の向上に努めます。
 - ⑤グリーン購入の推進
事務用品のグリーン購入（できる限り環境への負荷が少ないものを優先的に購入すること）に努めます。
 - ⑥環境関連事業の実施と環境情報の提供
各事業所において、柏崎市と連携し環境に関連した事業等を実施し、環境問題に対する市民への周知、情報提供、啓蒙活動に積極的に取り組みます。
2. 環境関連法規制や当財団が約束したことを遵守します。

制定日：2011年10月1日

改訂：2012年4月1日

改訂：2013年5月29日

理事長 近藤 清信



大崎温泉雪割草の湯

5 環境負荷の現状

■2014年度から、アルフォーレ・ゆうぎ追加。博物館・人物館除外。

項 目	単位	2012年度	2013年度	2014年度
電力使用量	kWh/年	3,687,257	3,620,939	4,033,924
化石燃料使用量(灯油・ガソリン・軽油)	ℓ/年	8,589	8,647	8,963
化石燃料使用量(都市ガス・LPG)	m ³ /年	839,053	815,195	880,040
一般廃棄物量	t/年	23.651	23.320	23.609
産業廃棄物量	t/年	1.288	0.9	0.4
水道使用量	m ³ /年	81,978	78,555	73,736
食品廃棄物排出量	t/年	14.556	13.577	11.076
食品リサイクル率	%	8.4	20.0	24.5
グリーン購入率把握	%	データなし	33	81
ノーマイカー運動参加	人/年2回	61	70	68
緑のカーテン実施	ヶ所	4	5	5

6 環境目標(2014年度～2016年度)

- 基準年度2013年度実績は、2014年度から拡大のアルフォーレ・ゆうぎの数値を加え、2014年度から除外となった博物館・人物館の数値を除いた数値である。
- 二酸化炭素排出係数は、2012年度の東北電力㈱の実排出係数0.600kg-CO₂/kWhを使用した。
- 化学物質については、使用していないので環境目標は設定しない。

環境方針	環境目標		単位	基準年度	目標値				2014年度 実績 (対目標値)
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度		
				4～3月	4～3月	4～3月	4～3月		
二酸化炭素排出量の削減	1	2013年度を基準年度として2016年度までにCO2を2%削減する	Kg-CO2	4,599,885	4,553,886 1%削減	4,553,886 1%削減	4,507,887 2%削減	4,406,350 3.2%削減	
	2	業務車両の燃費向上について2013年度を基準年度とし、2016年度までに燃費を3%向上する	Km/ℓ	9.63	9.72 1%向上	9.82 2%向上	9.91 3%向上	8.66 10.9%低下	
廃棄物排出量の削減	3	一般廃棄物排出量について2013年度を基準年度とし、2016年度までに2%削減する	t	26.900	26.631 1%削減	26.631 1%削減	26.362 2%削減	23.609 11.3%削減	
	4	産業廃棄物排出量について2013年度を基準年度とし、2016年度までに2%削減する	t	0.900	0.891 1%削減	0.891 1%削減	0.882 2%削減	0.400 55.1%削減	

環境方針	環境目標		単位	基準年度	目標値				2014年度 実績 (対目標値)
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度		
				4～3月	4～3月	4～3月	4～3月		
水道使用量の削減	5	2013年度を基準として2016年度までに水道使用量を2%削減する	m ³	83,041	82,211 1%削減	82,221 1%削減	81,380 2%削減	73,736 10.3%削減	
食品廃棄物量の削減	6	2013年度を基準として2016年度までに食品廃棄物量を2%削減する	t	13.577	13.441 1%削減	13.441 1%削減	13.305 2%削減	11.076 17.7%削減	
食品リサイクル率の向上	7	食品リサイクル法に基づき2016年度までにリサイクル率を38%に向上する	%	目標 32 実績 20	34	36	38	24.5 28%低下	
グリーン購入の推進	8	2016年度までにグリーン購入率を90%に向上する	%	33	70	80	90	81 15.7%向上	
環境関連事業の実施	9	柏崎市主催のノーマイカー運動に積極的に参加する(人数)	%	33	30	32	34	31 1%向上	
	10	柏崎市主催の緑のカーテンプロジェクトに積極的に参加する	箇所	5	5	5	5	5	
	11	環境関連に関する情報提供	項目	雪割草の湯、海洋センターHPに掲載した	HPに掲載できる事業所は環境情報を掲載する	HPに掲載できる事業所は環境情報を掲載する	HPに掲載できる事業所は環境情報を掲載する	雪割草の湯、海洋センターHPに掲載した	



冷温水発生機適正温度チェック



分別回収とキャップ回収



内部監査の様子

7 環境活動計画、取組結果と評価

	環境目標	環境活動計画の内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	照明のこまめな消灯	徹底できた	継続
		クールビズ、ウォームビズの推進	徹底できた	継続
		冷房28℃、暖房20℃の徹底	徹底できた事業所とできなかった事業所あり	広く周知を徹底
2	業務車両の燃費の向上	業務車両の燃費のデータ化	徹底できた	継続
		エコドライブの推進	徹底できた	継続
		効率のよい運行	徹底できた	継続
3	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量のデータ化	徹底できた	継続
		資源ごみの分別処理	徹底できた	継続
		ミスコピー紙、裏紙再利用の促進	徹底できた	継続
		ペーパーレスの推進	徹底できた	継続
4	産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量のデータ化	徹底できた	継続
5	水道使用量の削減	節水の掲示	徹底できた	継続
		水道使用業務の見直し(プール・温浴施設)	徹底できた	継続
6	食品廃棄物排出量の削減	食品廃棄物排出量のデータ化	徹底できた	継続
		リサイクルの方法の調査、検討	徹底できた	継続

	環境目標	環境活動計画の内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
7	食品リサイクル率の向上	食品廃棄物排出量の減量を関係施設に通知	徹底できた	継続
		食品廃棄物のリサイクル処理業者と処理契約を締結する	契約できなかった (魚のアラのみOK)	処理業者を探す
8	グリーン購入の推進	事務用品、コピー用紙等グリーン購入状況の調査、データ化	徹底できた	継続
		エコ商品の情報収集	収集できた	継続
9	ノーマイカー運動への参加	ノーマイカー運動の推進	徹底できた	継続
		日常のノーマイカー活動の推進	周知できなかった	継続
10	緑のカーテンプロジェクトの参加	緑のカーテン実施の推進	周知できた (日当りの関係で実施できない事業所あり)	継続

緑のカーテン



アクアパーク



総合体育館



西山自然体験交流施設



海洋センター



雪割草の湯

8 環境関連法規

法規制等の名称	適用される要求事項	該当する設備・項目	遵守評価
フロン排出抑制法	機器所有者によるフロン漏えい点検	業務用冷凍空調機器	○
大気汚染防止法	ばい煙発生装置の設置届出等 ばい煙排出の制限 ばい煙量等の測定、記録・保存	ボイラー	○
下水道法	公共下水道管理者への届出	公共下水道	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	収集業者の許可証確認	一般廃棄物	○
	処理業者との契約、マニフェスト発行・管理	産業廃棄物	○
消防法	管理権限者の選任(変更)届出	管理権限者	○
	防火管理者の届出	防火管理者	○
	消防計画の作成と届出	消防計画	○
	消防訓練の実施と届出	緊急時対応	○
	消防用設備等の点検と報告	消防用設備	○
興行場法	保健所の興行場営業許可	ホール	○
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生管理基準の遵守	特定建築物	○
	特定建築物の届出	特定建築物	○
旅館業法	県知事への旅館業の届出	宿泊施設	○
温泉法	温泉の利用の許可	温泉施設	○

法規制等の名称	適用される要求事項	該当する設備・項目	遵守評価
食品リサイクル法	事業者及び消費者の責務	食品関連施設	○
浄化槽法	浄化槽管理者の義務 (年1回の保守点検、清掃)	浄化槽	○
建築基準法	定期報告の届出	防火扉、非常照明	○
家電リサイクル法	事業者及び消費者の責務	リサイクル指定家電	該当なし
小型家電リサイクル法	事業者の責務	小型家電	該当なし
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務	公用車	○

※環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。



柏崎市産文化会館



佐藤池球場

9 食品廃棄物のリサイクル率算出内訳

食品廃棄物のリサイクル率(24.5%)算出の内訳は以下のとおりである。

$$\text{再生利用等の実施率(24.5\%)} = (\text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤}) / (\text{①} + \text{②})$$



食品関連施設ごとの内訳（単位:t）

	項 目	海洋センター	雪割草の湯	こどもの時代館	合計
①	発 生 量	13.071	1.607	0	14.678
②	発 生 抑 制 量	0	0	0	0
③	再 生 利 用 量	2.632	0.970	0	3.602
④	熱 回 収 量	0	0	0	0
⑤	減 量 量	0	0	0	0
⑥	再生利用等以外の量	0	0	0	0
⑦	廃棄物としての処分量	10.439	0.637	0	11.076
食品廃棄物のリサイクル率					24.5%

10 代表者による全体評価と見直しの結果

当財団は、2013年3月にエコアクション21の認証登録を取得し、環境経営システムを16か所の施設に導入して環境負荷の低減に向けた活動を推進してきました。

1 2014年度 環境負荷の実績・問題点

- ① 目標値に対して、二酸化炭素排出量3.2%、一般廃棄物排出量11.3%、産業廃棄物排出量55.1%、水道使用量削減率10.3%、食品廃棄物量17.7%削減し、目標が達成された。今後も取り組みを継続する。
- ② 食品リサイクル率は、前年度の20%から24.5%に向上したが、目標には未だ到達できない状態である。雪割草の湯は、2014年度から食品廃油をリサイクルに回したことが今回の改善につながったと考えられる。県内のリサイクル業者に連絡は取ったが見つからないのが現状である。今後もリサイクル業者探しを継続する。
- ③ グリーン購入は、2014年度81%で目標値を大きく上回り目標が達成された。今後も取り組みを継続する。
- ④ 業務車両の燃費向上については、目標値に対して10.9%低下し目標達成には至らなかった。原因としては、全走行距離(51,548km)のうち40.8%が燃費の悪いバス(2台)、トラックが占めているためだと考えられる。財団唯一のハイブリッドカーは、全体の5.7%しか走行していない。エコカーを有効活用していないのが現状である。

2 今後の課題・目標

- ① 業務車両の燃費目標値は、現状の運行状況に合わせた目標値に設定する。
- ② 食品廃棄物発生量の削減に努め、食品リサイクル率の向上を目指す。また、リサイクル業者を今後も継続して探す。
- ③ 各施設ごとに改善や創意工夫を積み重ね、環境にやさしい公共施設の管理運営を行う。
- ④ 既存車両変更時は随時エコカーを導入する。
- ⑤ 家庭用廃油を2事業所で回収し柏崎市廃油カー运行のエコ推進事業を継続する。
- ⑥ すべての職員がエコアクション21理念を踏まえて積極的に行動を起こす。

3 環境方針などの変更の有無

- ① 環境方針は変更なしとする。環境活動計画は2013年度を基準年度として、2014年度から3年間取り組む。(業務車両の燃費目標値は変更する。)
- ② 2014年度からアルフォーレ、西山自然体験交流施設ゆうぎを加え拡大した。柏崎市立博物館、柏崎ふるさと人物館は、指定管理期間が終了し、2014年度から柏崎市直営となるため2014年度から除外した。
- ③ 柏崎市農林漁業資料館(こどもの時代館)は、指定管理期間終了後、建物老朽化のため解体されるため2016年度から除外する。

2015年3月31日

公益財団法人かしわざき振興財団

理事長 近藤 清信

(環境管理総括責任者)



こどもの時代館



荒浜運動場



武道館

公益財団法人かしわざき振興財団 エコアクション21 環境活動レポート

〒945-0055 新潟県柏崎市駅前2-2-45

TEL 0257-24-7643

FAX 0257-22-7725

URL <http://www.ksz.or.jp>